

# カナリア諸島テネリフェ島テイデ火山の火山洞窟



本多 力 (HONDA, Tsutomu) NPO 法人火山洞窟学会所属 東京都在住)

## 1. はじめに

2012年5月にカナリア諸島テネリフェ島テイデ火山に火山洞窟調査に行く機会を得たのでその概略を報告したい。カナリア諸島は、アフリカ大陸の北西沿岸に近い大西洋上にある、7つの島からなるスペイン領の群島でアフリカ北西部・モロッコおよび西サハラ西岸の沖に位置している。

カナリア諸島は主としてテネリフェ島、グラン・カナリア島、ランサローテ島、ラ・パルマ島、ラ・ゴメラ島、エル・イエロ島、フェルテVENTOURA島から構成されており、その中でもテネリフェ島はスペイン国内の最高峰テイデ火山(海拔3718m)を擁している。

テネリフェ島は1977年3月ロス・ロデオス空港の滑走路上で2機のボーイング747型機同士が衝突し、乗客乗員合わせて583人が死亡した事故で有名な場所でもある。

カナリア諸島はすべてホットスポットによる火山島でありその位置関係を図1に示す。最も大陸に近いのは東部のフェルテVENTOURA島で、アフリカ大陸から100kmほどの距離にある。

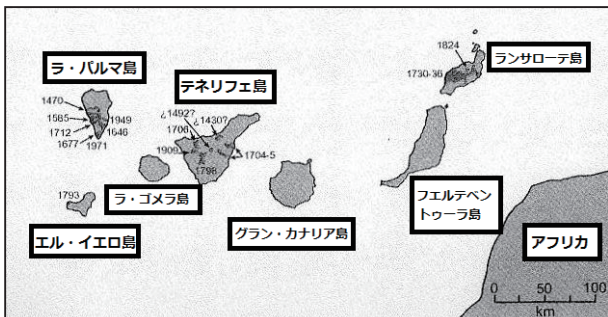


図1 カナリア諸島の配置と歴史的噴火における溶岩流分布 (参考文献1より)

## 2. カナリア諸島の歴史噴火年代

カナリア諸島の起源は8000万年ほど前の海中噴火によると考えられている。まずランサローテ島とフェルテVENTOURA島が現われ、その後3000万年ごろ、グラン・カナリア島、テネリフェ島、ラ・ゴメラ島が現われ、最後に百万年前以降ラ・パルマ島、エル・イエロ島が現われた。

カナリア諸島のほとんどの溶岩洞窟の形成は歴史噴火年代以前のものであるが、表1に歴史的記録に残されているカナリア諸島の噴火年代を示す。前出の図1に最近の溶岩流の年代と位置が示されている。

表1 カナリア諸島の歴史噴火年代 (参考文献1をベースとし参考文献2に基づき追加修正)

西 暦	島 名	場 所 (火山, 噴火口名)
1341	テネリフェ島	場所不明
1384 -1393	テネリフェ島	場所不明
1430	テネリフェ島	Taoro(valle de la Orotava)
1470 -1492	ラ・パルマ島	Tacande, Quemad
1492	テネリフェ島	Pico Viejoの南西?(参考文献1), Boca Cangrejo(参考文献2)
1585	ラ・パルマ島	Tahuya(Roques de Jedey)
1646	ラ・パルマ島	Tigalate,? Martin
1677 -1678	ラ・パルマ島	S.Antonio, La Caldereta?
1704 -1705	テネリフェ島	Siete Fuentes, Fasnía, Guimar
1706	テネリフェ島	Garachico